

会 議 録

会 議 名	嵐山町子ども・子育て支援事業計画策定委員会					
開 催 日 時	平成26年4月24日(木)	開 会	午後2時00分			
		閉 会	午後4時00分			
開 催 場 所	嵐山町役場 町民ホール					
会 議 次 第	1. 開会 2. 委嘱状交付 3. あいさつ 4. 議題 1) 副委員長の選出 2) 子ども・子育て関連3法について 3) ニーズ調査結果及びニーズ量について 4) 計画の構成について 5) その他 5. 閉会					
公開・非公開の別	公 開	傍聴者数	1 人			
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠状況	委員長	奥田 定男	出	委員	市川 智子	出
	副委員長	田邊 明子	出	委員	佐藤 実岐	出
	委員	青木 裕子	出	委員	佐野 文子	出
	委員	権田ひろみ	出	委員	杉田 哲男	出
	委員	吉田 昌司	欠	委員	田中 守	出
	委員	秋葉 正幸	出	委員	坂本 浩	出
	委員	長谷川寿恵	出	委員	村田 芳	欠
	委員	池亀 竜行	出	委員		
	委員	遠藤 恵美 (代理) 横森	出	委員	新井雅咲子	出
	委員	安藤 喜子	出	委員	秋元ひろみ	出
事 務 局	こども課長 簾藤 賢治			こども課副課長 前田 宗利		
	こども課主任 松本 葉子			地域計画株式会社 田部井哲郎		

次 第	顛 末
1 開 会	簾藤課長
2 委嘱状交付	
3 あいさつ	奥田委員長
4 議 題	<p>1) 副委員長の選出 立候補・推薦なく、事務局から提案。慣例により主任児童委員にお願いしたい。主任児童委員で相談。 副委員長：田邊明子委員</p> <p>2) 子ども・子育て関連3法について 子ども・子育て関連3法について【資料1】 事務局より、子ども・子育て支援新制度について説明。</p> <p>3) ニーズ調査結果及びニーズ量について ニーズ調査結果について【資料2】 事務局よりニーズ調査結果について、嵐山町の特徴を抜粋して説明。</p> <p>委員>回収率が高かったのは、みなさん子育て支援策には興味関心が高いのではないかと。</p> <p>事務局>子育て広場で説明会をする予定だったが、すでに返信済の方ばかりであった。全てのお子さんを対象に配布。同一世帯でも複数の親の状況として計上されているため、回答世帯数は不明。</p> <p>委員>問7：祖父母の家で遊んでいる子どもが多いのは嵐山の傾向だというのが、同居も含めてか。</p> <p>事務局>同居・別居の有無が確認できないが、同居も含めてである。割合は不明だが、通勤途中で祖父母宅に預けて働きに出かけている人もいと聞いている。</p> <p>委員>保育園などのお迎えは、祖父母が担当している人も多いと聞いている。定年後は孫の送迎だと。</p> <p>委員>問28・29：町の各事業については、満足している人が多いが、全般では満足度が低くなっている。</p> <p>事務局>大きく事業で不満なところはないが、全体的にもっとあったらいいな、という雰囲気がある。各事業においては、利用が少ないところでは、満足度も低くなる。</p> <p>委員>せっかく事業展開しているのだから、広報活動に力を。住民に食いついてもらえるような姿勢を見せてほしい。</p>

15:00～15:10 休憩

ニーズ量について【資料3】

事務局よりニーズ調査に基づいたニーズ量について抜粋して説明。

委員>特例給付とは何か

事務局>求職中など、保育所の入所を希望しているが、2号・3号認定を暫定的に認める場合等に利用されるものだと解釈している。

事務局>ニーズ調査から推計した最大限のニーズ量であり、実際には下がることが予想されている。

委員>人口推計について、0歳児が翌年そのまま1歳児になるのではないか。

事務局>転出入もあり過去5年のデータをもとにコーホート変化率法にて算出したものである。

委員>学童の給付額、利用の負担額についてはどうか

事務局>給付額、負担額については、国からの詳細を待っているところである。

委員長>幼稚園の保育料も現在は一定だが、所得割になるのか。

事務局>そのようになる可能性がある。

委員>認定を受けたから、ここに行かせてください。という希望がでてくるのか。

事務局>保育所に通っていても、1号認定を希望される方も出てくると思う。

委員>保育認定を受けるには、就労形態を問わないのか。

事務局>現在月64時間就労を基準にニーズ量を算出している。48～64時間の範囲で自治体ごとに決めてよいことになっている。基準時間以上で保育認定を認められることになるが、ニーズ量が増えると、それを確保するための施設も必要になる。基準については、管外の保育所等を利用している方もいることから、近隣の状況を確認しながら、委員会の中で決定していきたい。

委員長>幼稚園も現在の預かり保育を一時預かりという形に変更するようになるのか。

事務局>そのようになると思う。一時預かりのニーズ量は延1万人を超えているが、平成25年度の利用は延1,200人程度である。調査で「利用したい」と回答すると、多く反映されている。

4) 計画の構成について

計画の構成について【資料4】

事務局より、計画の構成について説明。必須項目、任意項目があり、任意項目も含めて作成予定。計画に入れるかどうかは、今後の委員会で議論していきたい。

	<p>5) その他 次回の会議について事務局より確認。 6月議会が終わり中旬以降を予定。事前に計画の素案を配布する。 なるほどBOOKが、国から170部届く。全戸配布はできないが、どのよう にしたいか、委員会で検討願いたい。 委員長>子育て支援施設や保育所、幼稚園などでご自由にお持ちくださいと してはどうか。 委員>民生委員にも配布してもらいたい。 事務局>原本はよいものであるため、当事者である子育て世帯に届くように したい。民生委員等には印刷したもので対応したい。</p>
7 閉 会	簾藤課長
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>年 月 日 署名委員 <u>杉田哲男</u></p> <p>年 月 日 署名委員 <u>田中守</u></p>	